

所管からの行政報告

1. 社会教育課

①「少年の主張滝川地区大会」を開催しました。

6月4日（水）、滝川市民交流プラザにおいて「少年の主張滝川地区大会」を開催しました。

市内の3中学校から選出された8名の生徒が、日常生活の中で体験したことや日頃感じていることなどを発表しました。

最優秀賞には『今、私には何ができるか』と題して発表した、明苑中学校 3年 中村 怜那さんが選ばれました。

②「たきかわこどもミュージックフェスタ」を開催しました。

6月14日（土）、滝川市民交流プラザにおいて「たきかわこどもミュージックフェスタ」を開催しました。

市内の幼稚園、小中高等学校の器楽部・吹奏楽部等の7団体264名が出演し、日頃の活動成果を発表しました。

③「レバンガ北海道小学校訪問事業 2025」を開催しました。

6月17日（火）、滝川市立滝川第二小学校5年生から6年生と、滝川市立滝川第三小学校5年生から6年生を対象に、「レバンガ北海道小学校訪問事業」が行われました。

本事業は、レバンガ北海道の選手が小学校を訪れ、児童と直接触れ合い、バスケットボールの楽しさを学びました。

●参加者数：滝川第二小学校5年生28名・6年生42名

滝川第三小学校5年生45名・6年生52名

④「沖縄交歓児童派遣事業」が行われました。

滝川青年会議所の主催により、6月27日（金）から7月1日（火）までの期間で「第50回滝川児童名護派遣」が行われました。

本事業は昭和49年から行われ、今年で50回目を迎え、市内各小学校の5年生から6年生10名の児童が、滝川市とは違う気候、風土を肌で感じ、名護市の子ども達と交流を深め、お互いの文化を学びました。

⑤アウトリーチ事業「トラベリングバンド『ひのき屋』と音楽を楽しもう！！」を開催しました。

7月9日（水）、アーティストの迫力ある素晴らしい文化芸術活動を、子どもたちに身近な空間で体験してもらうため、東小学校でアウトリーチ事業を開催し、子どもたちに音楽の素晴らしさを体感していただきました。

●参加者数：326人

⑥空知管内社会教育委員研究協議会を開催しました。

7月18日（金）、滝川市美術自然史館及びこども科学館、滝川市民交流プラザにて空知管内社会教育委員研究協議会を開催しました。

本研究協議会を通じて、空知管内の社会教育委員が生涯学習社会の実現に向けて、社会教育の実践的な方策を探るとともに、社会教育委員の果たすべき役割等について研鑽を深めました。

●参加者数：36人

⑦「スマホ安全教室」を開催しました。

8月28（木）、滝川市立滝川第一小学校3年生を対象に「スマホ安全教室」を開催しました。本教室は、スライドを活用したトラブル事例の紹介や、お友達同士での意見交換等を通じて学びました。

●参加者数：25人

⑧「初秋コンサート 秋の足音♪クラリネットの調べ」を開催しました。

8月28（木）、市役所1階ロビーにおいて「ロビーコンサート」を開催しました。

このコンサートは、開かれた親しみやすい市役所庁舎をめざして、平成9年から毎年開催しており、地域の皆様が身近な場所で生の音楽を鑑賞できる機会として、株式会社泰進建設様のご寄付により開催しています。今回はクラリネット奏者とピアニストをお迎えしました。

●来場者数：120人

⑨「STEAM教育体験施設【ミラーボ】」オープニングセレモニーを開催しました。

8月30日（土）、新しいB&G 海洋センターのオープン（令和8年5月予定）に向けて、STEAM教育をコンセプトとした施設を北海道教育大学の協力のもと、大日本印刷株式会社と共同でオープンすることから、滝川市こども科学館において「STEAM教育体験施設【ミラーボ】オープニングセレモニー」を開催しました。

●来場者数：64人

2. 図書館

①図書館視察や学校図書館訪問などを受け入れました。

4月7日～8月25日に図書館視察や学校図書館訪問、図書館訪問、インターンシップ研修を受け入れました。(17回、計365名)

【図書館視察】(7回・計30名)

岩見沢市立図書館(2名)、空知管内社会教育委員(6名)、Web 絵本作家ほか(3名)、北海学園大学工学部建築学科石橋ゼミ(3名)、絵本作家はらぺこめがねほか(8名)、ニジノえほんや・絵本作家・ふわはね(2名)、第64回社会教育研究全国集会世話人会(6名)

【学校図書館訪問】(6回・計270名)

滝川第二小学校(3回・1年生37名、2年生42名、3年生45名)、滝川第三小学校(2年生57名)、西小学校(2年生28名)、東小学校(2年生61名)

【図書館訪問】(3回・計64名)

たんぽぽの家(14名)、赤平小学校(1年生35名)、北竜町立真竜小学校(3年生15名)

【インターンシップ研修】※8月18日～8月20日

國學院大學観光まちづくり学部(3年生1名)

②出張おはなし会を実施しました。

4月9日～8月6日に出張おはなし会を実施しました。(11回、計338名)

サービス付き高齢者住宅カーサシーザーズ(3回・75名)、グループホーム土筆(38名)、グループホームコスモス(25名)、ひまわりの絆プロジェクト(89名)、ニチケアセンター滝川(2回・33名)、たんぽぽの家(18名)、中地区学童クラブ(26名)介護付き有料老人ホームあおぞら(34名)

③講師を派遣もしくは講習会を実施しました。

4月12日～8月29日に講師を派遣もしくは講習会を実施しました。(7回、計229名)

図書館ボランティア研修会(2回・27名)、ファミリーサポートセンター保育講座(6名)、令和7年度社会教育主事講習(A)(84名)、岩手県令和7年度図書館等中堅職員研修会(45名)、第64回社会教育研究全国集会文科会(36名)、明苑中図書委員会ブッカー講習会(31名)

④「生きる力を育むたきかわっ子ワクワクまなびプログラム」の各種事業を実施しました。

■4月25日～5月21日に、こどもの読書週間事業展示「生きる力を育むたきかわっ子ワクワクまなびプログラム」を行い、これからスタートする事業についてのPRを行いました。

■5月16日に、エア・ウォーターの森（札幌）において、ふるさと応援Hプログラム2024年度寄附授与式・感謝状贈呈式が執り行われ、前田市長が授与を受け、贈呈を行いました。
また、事業説明も併せて行いました。

■6月29日に、「としょかん☆ワクワクゲームDAY2025 Summer」（85名）を開催しました。幼児から大人まで、ボードゲームやカードゲーム、パズルなどで自由に交流して遊ぶ催しです。当日は札幌、旭川、近隣市町からも参加があり賑わいました。

■7月7日、8日に、「木版画と音楽で味わう手島圭三郎さんの世界」（3回、205名）を開催しました。滝川市立滝川第一小学校（4～6年生）、滝川市立滝川第二小学校（3・4年生）それぞれの学校を舞台に行いました。

江別市在住の絵本作家・手島圭三郎さんの木版画と絵本を飾った会場で、江別市や札幌市で活躍されている「シアターとんとん」さんが音楽と映像と読み聞かせを融合した公演を披露してくださいました。キーボードや笛などの演奏と情感溢れる読み聞かせ、北海道の動物にまつわるクイズを楽しみました。

■7月29日～8月5日に、地域の企業や機関にご協力いただき「たきかわDE調べる学習体験講座・夏休み編」（計4回・91名）を開催しました。

○ジンギスカンコース（協力：株式会社マツオ）（33名）

オリジナルの味付けジンギスカン作りやマツオジンギスカンの歴史の学習、松尾めん羊牧場を見学しました。

○OFMラジオコース（協力：FMなかそらち）（13名）

FMラジオのしくみをまなび、朗読を収録し放送するなどラジオパーソナリティ体験を行いました。

○消防署コース（協力：滝川消防署）（56名）

放水や消防車の走行乗車、はしご車乗車、ミニ制服の着用、煙体験など、消防士体験を行いました。

○モデルロケット製作コース（協力：株式会社植松電機、Letara 株式会社）（51名）

植松電機社長、LetaraCEOの講話、モデルロケット製作・打上体験を行いました。

■7月30日～8月25日に、展示「生きる力を育むたきかわっ子ワクワク学ぶプログラム『たきかわDE調べる学習体験講座』」を行い、実施状況をお披露目するとともに、各コースの追加調べ学習に活用していただきたい本を併せて展示しました。

■8月6日に、國學院大學北海道短期大学部で、「著作権講座～授業における教材利用と著作権～」（協力：JASRAC、國學院大學北海道短期大学部）（26名）を開催しました。

教員、図書館関係者、学生向けの著作権講座を開催しました。講師に原口直氏をお招きし、わかりやすい事例を交えて教えていただきました。「ぜひ、自分の学校でも子ども達向けや教職員向けに行いたい。」という声が多数上がっていました。

■「たきかわっ子ワクワク宇宙プログラム」を開催しました。

6月27日～8月6日 展示「七夕 ほしにねがいごと」(286名)

7月19日「えほんとあそぼう！おはなしのひろば」

※前述、「たきかわ DE 調べる学習体験講座」モデルロケット製作コース含む

8月1日～8月24日「おつきさまのえほん」原画展

■「第10回滝川市立図書館を使った調べる学習コンクール」の作品募集にあたり、7月25日～8月20日に、展示「無限大の夏休み 調べもの・工作編～」を実施し、自由研究にオススメの本を展示したり、チラシを配付するほか、「調べる学習のススメ」の冊子作成・配付を行い、子ども達の調べ学習の支援に努めました。

また、併せて、7月25日～9月30日の期間で、作品募集展示「第10回滝川市立図書館を使った調べる学習コンクール」を開催中です。

■調べ学習の作品展示

7月25日～8月20日に、展示「滝川市と沖縄戦～滝川市立滝川第二小学校6年生社会～」を実施しました。

授業で図書館の本を活用して調べ学習を行いまとめた作品です。札幌から作品を見に来るなど、多くの反響がありました。

⑤寄付・寄贈を受け入れました。

5月26日～8月12日に寄付・寄贈を受け入れました。(3回)

滝川歩くスキー協会は解散に伴う寄付。北海道コカ・コーラボトリング株式会社は社会貢献活動の一環として図書館ロビーに設置された自動販売機の売上金の一部を、子ども達の豊かな心を育む本の購入に充てる「たきかわっ子未来としょかん文庫」による寄贈。

【寄付】滝川歩くスキー協会(50,000円)、匿名(1,000,000円)

【寄贈】北海道コカ・コーラボトリング株式会社「たきかわっ子未来としょかん文庫」(57冊・85,904円相当)

⑥どこでもドクショ。～つながる本棚～を実施しました。

6月11日～7月24日に「どこでもドクショ。～つながる本棚～」を実施しました。(6回、計831冊)

市内の施設で本にふれる機会が提供できるよう読書環境を整備する取組です。高齢者施設や温泉施設、子育て施設へ本を提供・設置しました。シニア編では、高齢者向け読み聞かせボランティアのみなさんが、本のほかにお手製のメッセージカードとふくろうの飾りものをプレゼントし、入居されたみなさまに大変喜んでいただけました。

また、地域文庫編では、滝川ふれ愛の里にコーナーを設置しました。開設初日から休憩スパー

スで読書に親しむ姿が見られるなど大変好評と伺っています。キッズ編では、滝川ふれ愛の里内に開設した「ふれ愛の里地域子育て支援センター」に婦人雑誌を寄贈しました。

【シニア編】サービス付き高齢者住宅カーサシーザーズ、有料老人ホーム住宅型あったか館、
滝川市見晴らしデイサービス（3カ所、90冊）

【地域文庫編】滝川ふれ愛の里（2回・734冊）

【キッズ編】ふれ愛の里地域子育て支援センター（7冊）

⑦古本もってけ祭 in ありす祭を開催しました。

6月15日に國學院大學北海道短期大学部と連携し「古本もってけ祭 in ありす祭」を開催しました。小説や実用書、雑誌、児童書などを体育館に並べ、市民へ提供しました。

当日はありす祭のとの相乗効果で650人の参加があり、にぎわいました。

⑧「わたしを読む、読書感想文～ひみつの書き方教室～」を開催しました。

7月26日に、小・中学生を対象に「わたしを読む、読書感想文～ひみつの書き方教室～」を開催しました。読書感想文は苦手意識を持つお子さんが少なくありません。書き方のコツや本の選び方などを親子18名に伝えました。

また、併せて、7月25日～8月20日に「滝川市立図書館×TSUTAYA 滝川店連携企画として、展示「無限大の夏休み 読書感想文編」を実施し、読書感想文におすすめの本のチラシ作成や展示・販売ブースをそれぞれに設置するなど、読書感想文に取り組む子どもたちの支援に努めました。

⑨「絵本作家 はらぺこめがねワークショップ～はらぺこべんとうをつくろう！～」を開催しました。

7月27日に、絵本作家ユニット「はらぺこめがね」をお招きし、特製の紙をちぎって組み合わせて「はらぺこべんとう」をつくるワークショップを開催しました。キーボード演奏に合わせた、声優・森田樹優さんによる絵本の読み聞かせもご披露いただきました。48名の参加があり、個性溢れるおべんとうができました。

⑩図書館システム更新と蔵書点検に伴い、臨時休館しました。

8月25日～9月4日に、図書館システムの更新と蔵書点検を行うため、臨時休館をいたしました。

3. 美術自然史館・こども科学館・郷土館

【美術自然史館】

企画展「滝川市美術自然史館コレクション選〜ソラチ・アートの軌跡」を開催しました。

戦後早々に一木万寿三、坪谷六郎らにより結成された黄土会（現滝川美術協会）の作品を中心に滝川にゆかりある作家の作品を展示しました。

絵画などの表現芸術は、その時代の雰囲気や当時の風景などの記憶を刻みます。空知地方の農村景観や人々の様子など、美術作品を通じて、ソラチから発信したアートの軌跡とその魅力に触れつつ、この地域が持つ個性を紹介しました。

●会 期 令和7年4月19日（土）～5月25日（日） ●来場者 2,287人

企画展「チョッちゃんアンティークコレクションリターンズ展」を開催しました。

BS放送によるNHKテレビ小説「チョッちゃん」の再放送、7月に軽井沢にオープンした黒柳徹子ミュージアムの開館にあわせて、黒柳朝氏から寄贈いただいたアンティークコレクションを紹介しました。

また、滝川市出身の黒柳朝氏の生涯と戦時下であっても困難に立ち向かい、「芸術・美しいものを愛する」心を失わなかったその生き方などを伝えました。

●会 期 令和7年4月26日（土）～6月1日（日） ●来場者 2,387人

特別展「戦後80年 たきかわ戦争の記憶」を開催しました。

戦後80年周年を記念した本特別展は、郷土館等で収集してきた人石資料をはじめ、出征兵士の写真や大政翼賛会滝川支部の資料、さらには国民服など生活物資等から当時の市民の暮らしを紹介しました。

特に、多くの写真資料等を展示することで、当時のたきかわの「見える化」を図り、忘却させてはならない戦争の記憶に触れていただきました。

また、戦時下に少年時代を過ごした滝川市郷土研究会参与白井重有氏による「記憶をたどる - 戦時下のたきかわ」と題した講演会を実施し、その体験談等を語っていただくことで、より深く戦争について知る機会をつくりました。

●会期 7月5日（土）～8月31日（日） ●来場者 4,204人